



旗揚げ会で意気込みを語るスタッフら

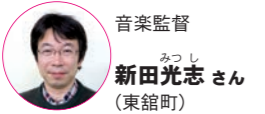
40回記念公演「でんでらばらばらだいたす」は、土淵町の「でんでら野」がモチーフ。年老いて「でんでら野」に行くことになった主人公が、同じ境遇の年寄りと力を合わせて幸せを追い求める、笑いあり涙ありの感動作です。原作・脚本・演出は菅原伴耕さん（遠野物語ファンタジー制作委員長、宮守町宮守）が務め、スタッフ・キャスト総勢約350人が参加します。

12月2日、あえりあ遠野で開かれた「旗揚げ会を皮切りに、舞台準備は本格化。キャスト陣は学校や仕事を終えた後、市民センターに集まり稽古を重ねています。舞台道具や衣装、音響、照明など裏方の準備も着々と進んでいます。菅原さんは「年をとっても、元氣さえあればまだまだ活躍できる。そんなメッセージを込めて制作しています。スタッフ・キャストが一丸となって舞台づくりを励み、歴史ある舞台の節目を飾りたい」と意気込みを語りました。チケット好評発売中。お早目にどうぞ！



小道具チーフ
井手進之典さん
(附馬牛町)

たかが小道具、されど小道具。役者を引き立てるインパクトのある小道具で魅了します。



音楽監督
新田光志さん
(東館町)

今までにない、新しいイメージの音楽で、観客の皆さんを驚かせてみせますよ！



制作委員長
菅原伴耕さん
(宮守町宮守)

スタッフもキャストも観客も楽しめる、そんな舞台にしたいと思っています。



タケ役
越田友美さん
=遠野高1=

初舞台で緊張していますが、練習も本番も楽しみながら臨みたいと思っています。



長助役
浅沼英志さん
=遠野小3=

役の気持ちになりきり、大きな声で練習しています。本番は演技で観客を感動させたい。



衣装チーフ
菅原香さん
(青笹町)

演出や役者の皆さんのアイデアに、私の感性を加えた衣装作りに挑戦したいです。



音響チーフ
阿部光禪さん
(新町)

効果的な音響で、皆さんを舞台に引き込んでみせます。注目ならぬ注目を！

【主なキャスト】

奥寺 結菜	青笹保育園年長	菊池 徳博	南菊良商店
及川 誌妃星	綾織小2年	田中 文人	医療法人社団敬和会
浅沼 英志	遠野小3年	細川 順子	榊栄組
松田 修斗	遠野小4年	工藤 康宏	遠野市役所
奥寺 創太	青笹小4年	市川 智樹	グリーンケア
中村 綺羅々	上郷小4年	伊藤 弘美	アルバイト
浅沼 香緒	宮守小5年	山田 拓治	社員
小林 裕太郎	遠野小5年	佐藤 芳夫	農業
浅沼 未希	遠野西中1年	佐藤 芳子	みやもり荘
越田 友美	遠野高校1年	細越澤 史子	ふるさと観光ガイド
鈴木 由佳理	釜石高校3年	清水 妙子	主婦
		菊池 定邦	



稽古に励むキャスト陣。役づくりも着々

第40回記念公演は、 でんでら野が舞台の感動作！。

市 民手作りの舞台「遠野物語ファンタジー」。昭和51年3月の初公演以来、『遠野物語』などを題材に感動の舞台が繰り広げられ、厳しい遠野の冬に温もりを与え、春を呼ぶ舞台として親しまれてきました。また、市民劇の草分け的存在としても有名で、毎年県内外から多くのファンが訪れています。その伝統の舞台が、いよいよ40回の節目を迎えます。来年2月21・22日に行われる第

舞台関係者にインタビュー

チケット発売中！ お早目に！



市民の舞台「遠野物語ファンタジー」

二幕十場 原作・脚本 菅原伴耕

【あらすじ】
長三郎は、とうにでんでら野に行く年齢を越えているが、息子の長蔵があらぬ夢を見て百姓に精を出さないため、山に行かないでいる。その長蔵の夢に付け込んだ役人のよからぬ企てにより、山に追いやられてしまふが、でんでら野はまるで別世界。老人たちは楽しく暮らしていた。しかし、長三郎がいなくなつた家はたびたび危機に陥り、それを救うため、でんでら野の老人たちは立ち上つた。

平成27年 2月 21日(土) 22日(日)

●開場：午後5時30分 ●開演：午後6時30分
●開場：午前9時30分 ●開演：午前10時30分
●開場：午後1時30分 ●開演：午後2時30分

遠野市民センター大ホール ●入場料／一般 1,300円 (当日1,500円) 高校生以下 600円 (当日800円)

●問合せ先：TEL0198-62-6191 (遠野物語ファンタジー事務所・内線242)
●主催：遠野物語ファンタジー制作委員会 ●共催：遠野市、遠野市教育委員会、(一財)遠野市教育文化振興財団
プレイガイド/とびあ、遠野風の丘、グランドインテリア、みやもりDmm1、道の駅みやもり、みやもりホール、各地区センター、遠野市民センター、遠野市教育文化振興財団